

あそらくんを描いたよ



阿蘇くまもと空港でスケッチ大会

より身近に阿蘇くまもと空港を知ってもらおうと、同空港で、6月15日と17日に空港マスコット「あそらくん」のスケッチ大会が行われました。参加したのは、益城幼稚園(菅恵利子園長)43人と第二幼稚園(深草安世園長)59人の年長さん。

園児たちは、「あそらくん」のマスコットが登場すると大喜びし、直接触れ、特徴などを体感したあと、「あそらくん」の大型模型を観察しながら、夢中になってスケッチをしました。

普段は乗降客でにぎわう空港内に、この日は子どもたちの明るい歓声がかどましていました。



あそらくんを夢中になって描く園児たち



園児のお世話をする木山中の生徒たち

楽しかった園児のお世話

木山中3年生が第5保育所で交流学習

6月14、22日、7月7日の3日間、木山中学校の3年生が、町立第5保育所を訪れ、幼児との交流学習を行いました。これは、幼児と遊んだり生活のお世話をすることで自分の幼児期を振り返り、ふれあいの楽しさ、喜びを味わってもらおうと計画されたものです。6月22日は3年2組の生徒たちが保育所を訪問。年長組から0歳児までの4クラスに分かれ、トイレや手洗い、絵本の読み聞かせなどの手伝いをしました。

短時間の交流でしたが、生徒たちは「お世話は大変だけど、園児たちはとてもかわいいし、楽しかったです」と笑顔を浮かべていました。

気分は「メイちゃん」

津森小児童が園児とトウモロコシ狩り

津森小学校の学校農園「伍三郎農園」で6月24日、同校児童92人と町立第3保育所の4、5歳児27人が、トウモロコシの収穫作業を行いました。3月に種をまいたトウモロコシは、同校PTAなどが管理を続けたおかげでたくさんの実を付けました。実のもぎ方を教わった子どもたちは、自分の背丈よりも大きく育ったトウモロコシ畑に分け入り、1本1本ていねいに収穫していました。なかなか実が外れず苦戦している園児に上級生が手を貸す場面は、さながら「メイちゃん」の「トトロ」に登場する「メイちゃん」なごやかな収穫作業となりました。



収穫したトウモロコシを運ぶ子どもたち